

毎週木・金曜日配布

購読料無料

手配り

日本ABC協会加盟紙

# ちいき新聞

ちいき新聞に関するご意見・ご要望・お問い合わせは 読者サポート ☎ 0120-152-337 受付／平日10:00～18:00 ※土日祝日は休み ichi-chu@chiikinews.co.jp

2018年1月12日号

市川中央版

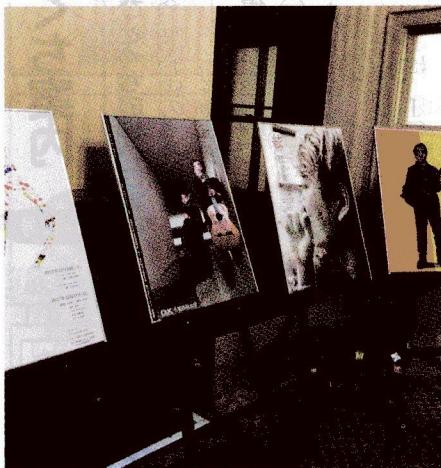
発行部数29,525部

VOL.772 全57版

総発行部数2,136,299部



- ☆目指せ新人王！この人 鈴木康平さん
- ☆読者投稿 ちいきカフェ
- ☆お楽しみ♪読者プレゼント



ポスター候補の展示

コンサートは、ギターワークと映像、エレクトロニクス、朗読など多彩なプログラム。政策情報学部特別講義の集大成となる催しだ。「視覚的な要素や言葉は現代音楽にとって重要。演奏と解説、どちらを先にすればお客様が聴きやすいかなどもリハーサルを通して構成を決めていく

## 学生の考える音楽とプロによる現代音楽

「企画の立ち上げ前は現代音楽を知らなかつた」という学生たちも個性豊かな音楽作品に映像を付け、朗読をした。

## 教鞭をとる作曲家伊藤美由紀氏の新作

当日は、フローニビア大学やフランス国立音響研究所で研鑽を積んだ作曲家伊藤美由紀氏による新作「二重星(Ⅲ)」(世界初演)も披露された。複雑なギターの音響が、木内ギヤフリーの程よい残響で、細部まで繊細な音を聴くことができた。

「二重星」シリーズはいずれも同じ楽器の二重奏のために書かれているもので、今回はギターの二重奏。互いに響き合いながら二つの音楽を構成していた。

一方、「プロメテウスの光」から抜粋された作品「発火点」は、音源から音の倍音を取り出し構成したという同

教授・柳沢順氏の映像、伊藤氏のエレクトロニクスの操作とともに。パフォーマンスされた。「焼き物や陶磁器など美術の世界にどうても人は創造の源」と語る教授に、来場者は深くうなづいていた。

特別講義においては広報や企画も重要な要素。当日は、吉羽之講師の指導のもと本採用となつたポスター以外も展示され、学生たちの個性を垣間見ることができた。開演前にはプロジェクトメンバーで授業の様子や学生のインタビューを流すといった工夫も。「音楽の専門でないからこそ生まれた興味深いコンサート」とはギタリスト大坪純平さんの言葉だが、まさしくコンサート企画と、大学の講義としての取り組みが両方成立したプロジェクトといえる。

(トムケ)

## キャンパスから広がる世界

# “弦”代音楽コンサート in 木内ギャラリー



映像とギターのコラボ



学生と指導教員で集合写真